

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	言葉に出会うために 学びをひらく 新しい視点へ	49
7	文法1 言葉の単位 言葉をつなぐ 読書生活を豊かに	
8	楷書で書こう	
9	つながりの中で	58
10	いにしへの心にふれる 楷書と仮名を調和させて書こう	
11	文法2 文の組み立て 行書で書いてみよう	
12	書き初めを書く	
1	論点を捉えて	33
2	読書に親しむ 自分を見つめて	
3	文法3 単語の分類	

時間数140

2 学年国語科の目標

＜ 国語・書写 ＞

中学校における国語の学習の基礎・基本を身に付け、正確に読み取り、的確に伝え合うことができる力を身につける。また、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

書写では、楷書・行書の字形、配列などを整えて書く力を養い、学習や生活に生かす能力を身に付ける。

3 観点別評価の割合・方法

国語への 関心・意欲・態度 20%	話す・聞く・能力 20%	書く能力 20%	読む能力 20%	言語についての 知識・理解・技能 20%
・提出物 ・授業の取組み	・定期考査 ・発表 ・集団討議 ・聞き取りテスト	・定期考査 ・作文 ・詩短歌俳句	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・書写作品

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	世界の姿 世界のおもな国・世界地図 世界各地の人々の生活と環境 世界の気候とくらし	10
7		
8		
9	世界の人々の衣食住 世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	40
10		
11		
12		
1		
2		
3		
時間数		50

2 1 学年社会科の目標

〈 地理的分野 〉

日本及び世界の地理的事象に対する関心を高め、グローバルな視点を持ち、わが国の国土及び世界の諸地域を考察する。地理的な見方や考え方の基礎、グラフ作成や読み取りの技能を身につけることを目指し、わが国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養い、現代社会に生きる1人としての教養を身につける。

3 観点別評価の割合・方法

社会的事象への 関心・意欲・態度 25%	社会的思考・ 判断・表現 25%	資料活用の技能 25%	社会的事象に ついての知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 課題プリント ワークシート ファイル 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト ワークシート レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト ワークシート レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	歴史の流れをとらえよう 古代までの日本 世界の古代文明のおこり 日本列島の誕生	25
7		
8		
9	古代国家の歩み 中世の日本 武士の台頭と鎌倉幕府 東アジア世界との関わりと 社会の変動	20
10		
11		
12		
1	近世の日本 ヨーロッパ人との出会い と全国統一	10
2		
3		
時間数		55

2 1 学年社会科の目標

〈 歴史的分野 〉

歴史的事象に対する関心を高め、わが国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる。また、その取り組みを通してわが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、わが国の歴史に対する理解と愛情を深める。

3 観点別評価の割合・方法

社会的事象への 関心・意欲・態度 25%	社会的思考・ 判断・表現 25%	資料活用の技能 25%	社会的事象に ついての知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 課題プリント ワークシート ファイル 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト ワークシート レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト ワークシート レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	数量	時数	図形	時数
	単元・章・節		単元・章・節	
5		29		16
6	1章 正の数・負の数		5章 平面図形	
7	2章 文字の式	22	6章 空間図形	16
8				
9				
10	3章 方程式	20	6章 空間図形	16
11				
12				
1	4章 変化と対応	23	まとめ問題	4
2				
3	7章 資料の活用	10		
時間数		104	時間数	36

2 1 学年数学科の目標

- (1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。
- (2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
- (4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

3 観点別評価の割合・材料

数学への 関心・意欲・態度 25%	数学的な 見方・考え方 25%	数学的な技能 25%	数量・図形などについて の知識・理解 25%
・授業態度 ・提出物	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4	臨時休校 休校期間中の課題	
5		
6	植物の観察 単元1 植物の生活と種類 1章 植物の体のつくりとはたらき(5) 2章 植物のなかまわけ(4) 3章 動物のなかま(7) 終章、まとめ(3)	23
7	単元4 大地の変化 1章 火山(8) 2章 地震(7) 3章 地層(5)	26
8	4章 大地の変動、(2) 終章、まとめ(3)	
9	単元2 物質のすがた 1章 いろいろな物質(7)	26
10	2章 気体の発生と性質(4)	
11	3章 物質の状態変化(7) 4章 水溶液(5)	
12	単元3 身の回りの物理現象 1章 光の性質(8)	25
1	2章 音の性質(5) 3章 力と圧力(8)	
2	終章、まとめ(3)	
3	課題 探究(5)	5

時間数 105

2 1学年理科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

3 観点別評価の割合・材料

自然事象への 関心・意欲・態度 25%	科学的な思考・表現 25%	実験・観察の技能 25%	自然事象についての 知識・理解 25%
授業観察と評価資料から 1 主体的学習の行動や態度 ・班活動、発言、提出物 ・ワークシートの内容	定期考査 学力テスト(今年度中止) 授業での発言内容	観察・実験中の行動観察 (実験の時間、班活動も含む) 観察・実験報告書 観察・実験ワークシート (スケッチ、表、図、グラフなどの書き方も含める。)	定期考査 学力テスト(今年度中止) 小テスト
2 協同的学習の行動や態度 ・話し合い活動 ・班活動 (含：準備やかたづけ)	ワークシート・授業プリント などの「考察」「自分の考え」	実技テスト 定期考査	ワークシート・授業プリント
3 深い学びへの取組 ・自ら学ぶ・課題のまとめ ・提出物・小テスト、課題	実験、観察の報告書 特に「結果」と「考察」		
4 個人内評価 ・学習の振り返りシート ・授業ごとのノートで、まとめ、振り返り			

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4 5		
6	課題「赤とんぼ」 楽典「ト音記号」「ハ音記号」	15
7	楽曲分析「赤とんぼ」 鑑賞「春」 器楽「和太鼓」	
8		
9	歌唱「校歌」 歌唱「学年・全校合唱曲①」	
10	鑑賞「魔王」 (創作「リズム作り」) 歌唱「学年・全校合唱曲②」	3
11	歌唱「クラス曲」 歌唱「浜辺の歌」	3
12	歌唱「クラス曲/学年・全校合唱曲②」	3
1 2 3	歌唱「クラス曲/学年・全校合唱曲①②」	10
時間数		45

観点別評価の割合・材料

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
25%	25%	25%	25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 提出物 実技試験 授業準備 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 提出物 筆記試験 実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> 実技試験 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 筆記試験 授業観察

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

2 1 学年音楽科の目標

(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。

(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。

(3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	オリエンテーション	1
	・絵の具で描く ・見て描く楽しみ 「手」を描く	8
7	・レタリングの練習	9
8	府中市美術館で作品鑑賞	
9	・レタリング 「絵文字」の制作	10
10		
11	・木彫工芸	10
12		
1		
2	・彫刻 「深海の新生物」	7
3		

時間数 45

2 1 学年美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を広げ、豊かな情操を養う。

3 観点別評価の割合・材料

美術への 関心・意欲・態度 25%	発想や構想の能力 25%	創造的な技能 25%	鑑賞の能力 25%
・定期考査 ・授業記録カード ・授業観察	・定期考査 ・ワークシート ・スケッチ ・作品評価	・定期考査 ・作品評価	・定期考査 ・鑑賞レポート ・小テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		13
5		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術を知ろう ・生物の育成計画を立てよう ・植物の状態や環境を考えて育成しよう 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成に関する技術について知ろう ・エネルギー変換に関する技術について知ろう 	9
8	<ul style="list-style-type: none"> ・電気を安定的に供給するための仕組みを知ろう ・機器に使われている部品を知ろう ・電気機器の保守点検の重要性を知ろう 	
9		
10		
11	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの機器について調べよう 	13
12	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換を利用した製作品を作ろう ・エネルギーの有効利用について考えよう 	
1		
2		
3		

時間数 35

2 2学年 技術科の目標

〈 技術分野 〉

ものづくりなどの実践的、体験的な学習活動を通して、生物育成、エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

3 観点別評価の割合・方法

生活や技術への 関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し 創造する能力 25%	生活の 技能 25%	生活や技術についての 知識・理解 25%
・授業観察	・観察レポート	・観察レポート	・提出物(プリント含む)
・観察レポート	・製作品	・製作品	・製作品
・製作品	・提出物(プリント含む)	・提出物(プリント含む)	・定期考査
・提出物(プリント含む)	・定期考査	・定期考査	
・定期考査			

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

※技術科と家庭科の得点を合計したもので、評価・評定を行う。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	オリエンテーション 家族・家庭と子供の成長 家庭のはたらき	17
7	家庭の仕事を支える社会 衣生活・住生活と自立 衣生活の自立	
8	環境に配慮した衣生活 布を用いた物の製作	
9	食生活と自立 健康と食生活 食事の役割	4
10	食生活と自立 食事の役割 中学生に必要な栄養	4
11	調理をしよう 調理の基本 調理実習	5
12	調理をしよう 調理実習 食物調べ	
1	地域の食材と環境との関わり	3
2	世界の食事を調べよう	
3		2

時間数 35

2 1 学年家庭科の目標

〈食生活・衣生活と自立〉

衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。日常着の手入れができる。布を用いたものの製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考える。栄養素の種類と働きを理解する。基礎的な日常食の調理の技術を身につける。

3 観点別評価の割合・材料

生活や技術への 関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し 創造する能力 25%	生活の 技能 25%	生活や技術についての 知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 授業準備 学習プリント 提出物 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 学習プリント 提出物 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 学習プリント 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 学習プリント

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%

A

80%未満～50%

B

50%未満～0%

C

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節		時数
	男子	女子	
4			
5			3
6	体づくり運動 陸上(短距離走 リレー)	体づくり運動 球技(バドミントン)	11
7		陸上(短距離走)	
8	球技(卓球)		11
9	器械運動	器械運動	
10	球技(ハンドボール)	陸上(リレー・ハードル)	18
11	球技(バレーボール)	陸上競技(長距離走・走高跳び)	18
12	陸上競技(長距離、高跳び、ハードル)	球技(ハンドボール)	10
1			
2	武道	武道	15
3	ダンス	ダンス	
時間数			86

3 観点別評価の割合・方法

運動や健康・安全への関心・意欲・態度 25%	運動や健康・安全への思考・判断 25%	運動の技能 25%	運動や健康・安全への知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> ・体育着を正しく着用 ・進んで運動を実践 ・安全に道具のセット ・仲間と協力して運動 ・公正な審判・計測 ・準備体操 ・学習カードの記入 ・学習カードの提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、持っている能力をさらにのばすための課題を考えられる ・どんな活動をすれば課題を達成できるのか、そのやり方を考えられる ・学習カードの記入 ・学習カードの提出 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・その運動を行うために必要な技能の習得 ・体力を高めるための運動のやり方の習得 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全についての基礎的な理解 ・運動や健康・安全についての基礎的なことを授業でいかしている ・ルールの理解と審判方法 ・定期考査

上記の内容を保健分野と総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80未満%～50%	B	50未満%～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層の努力を要する	1

1 学年保健体育科の目標

＜ 体育分野 ＞

- ・運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができるようにする。
- ・体力の向上を図り、たくましい心身を育てる。
- ・公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。また、健康・安全に留意して運動をすることができる態度を育てる。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数	
4			
5			
6	健康な生活と病気の予防	13	
7	↓		
8			
9	心身の発達と心の健康		
10	↓		
11			
12			
1			
2			
3			
時間数			13

3 観点別評価の割合・方法

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全への思考・判断	運動や健康・安全への知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 仲間と協力して学習 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や仲間が健康で安全な生活を送るためにどうすればいいか課題を考えられる どんな活動をすれば課題を達成できるのか、そのやり方を考えられる どんな活動をすれば課題を達成できるのか、やり方を工夫できる 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活を送るための基礎的なことがわかる 健康・安全な生活を送るためになおして行かなくてはいけないことがわかる 定期考査 	

上記の内容を体育分野と総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

1 学年保健体育科の目標

〈 保健分野 〉

- ・身体の機能は年齢とともに発達することや思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することを理解させる。
- ・知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活体験などの影響を受けて発達することを理解させる。
- ・心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、心身の調和を保つことが大切であることを理解させる。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	Let's Enjoy English Unit 1 Hi! Unit 2 At School	48
7	Unit 3 The Teachers	
8	Unit 4 On the Way Home Go for it1 自己紹介をしよう	60
9	Your Coach1 辞書を使おう Your Coach2 英語の音読を楽しもう Skit Time1 ペット Unit 5 A Summer Festival	
10	Unit 6 Breakfast Time Skit Time2 電話 Unit 7 Cheer Up, Tina.	
11	Skit Time3 落し物 Unit 8 Band Practice	
12	Unit 9 Tina's School Life Go for it2 大切な人のことを紹介しよう	
1	Let's Read1 What Am I? Unit 10 Happy New Year	32
2	Unit 11 Tina and Japan Skit Time4 買い物	
3	Go for it3 ALT新聞を作ろう Let's Read, Special Program	

時間数 140

3 観点別評価の割合・材料

コミュニケーションに対する 関心・意欲・態度 25%	外国語表現の能力 25%	外国語理解の能力 25%	言語文化に対する 知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト 授業中の取り組み 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト パフォーマンステスト (音読・スキット・スピーチ等) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 リスニングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト (単語と文法確認)

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

2 1 学年英語科の目標

英語を通して、コミュニケーションをとることの楽しさを知り、間違いを恐れず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
小学校では「聞く」「話す」が中心となっていたが、それに加えて「読む」「書く」に慣れ親しむ。